

X01a 分散解析システムDASH

八木雅文、水本好彦、小杉城治、高田唯史、近田義広、西原英治、吉田道利（国立天文台）、石原康秀、他（富士通）

すばる望遠鏡用の分散解析システムDASHプロジェクト (Distributed Analysis System Hierarchy) に関して発表する。DASHとはすばる望遠鏡の生産する莫大な量のデータを手際良く効率良く処理し解析することをめざしたシステムである。昨年度に計画が発足、本年度はプロトタイプ1号2号を計画、設計し、実装、試験を行なった。

本年会では、まず、将来のすばるのデータアーカイブおよび解析システムの全体像をデータアーカイブシステム(STARS)との関連を含め現在の設計計画を概略を述べる。次に、本解析システムDASHの目指す特長に関して、既存の解析システムと対比させつつ、何をどう目論んで開発しているのかを報告する。具体的には例えば、

- 分散システムへの対応、
- ラッピングによる解析手法の共用化
- 解析処理の再現性の保証、

等である。また本年度1年のプロトタイプシステムの開発実験を通じて何を完成させることができたか、および、何が課題として残ったかを、3月に行なわれるプロトタイプ2号の実機試験成果速報も含めて報告する。最後に来年度に実装を行なうプロトタイプ3号4号の概念設計が完成しているので、それを報告する。